

表2. 示説の内容

番号	内容	第一著者の学位
1	カリंगा(世話):フィリピンのがんサバイバーの生き方	修士
2	韓国人の胃がんリスクに対する認識の理解	博士
3	ハワイにおけるミクロネシア人移住者に影響を及ぼす健康格差の社会的決定要因	博士
4	在宅ケア看護師養成看護実習における看護実践の変遷	博士
5	日本におけるがん再発や転移についての情報提供を受けた看護師の心配	修士
6	日本におけるうつ病患者の夫に関する考察	修士
7	認知症のある高齢者に対する支援能力を維持する看護師の実践	博士
8	日本における統合失調症を持つ地域住民のセルフケア構造の妥当性の検討	修士
9	積極的行動への暴露の頻度と日本人介護労働者のアウトカムの関係	博士
10	米国クリティカルケアユニットの技術効率に関連する組織要因	博士
11	コミュニティ活動支援センターにおけるアウトリーチ支援の課題	博士
12	日本の看護管理者における経営能力の必要性に関する認識	修士
13	ベトナムのアメリカ人における2型糖尿病の病みの軌跡	修士
14	高齢者の健康を促進するための訪問看護介入	博士
15	乳がんサバイバーのためのマインドフルネスに基づく音楽療法の倦怠感と睡眠の質への影響	修士
16	学童期に1型糖尿病を発症した女性患者の思春期におけるセルフケア獲得プロセス	修士
17	アジアにおける親の子供の体重の知覚:システムティックレビュー	博士
18	自閉症児の子育てに関する母親の考え	博士
19	児童虐待ケースのために家を訪問する保健師の展望	修士
20	乳児を育てる母親の安心の概念分析:ハイブリッドモデルの開発	—
21	夏の乳幼児ベッドの環境-湿度の観点から	博士
22	大学病院で働く看護師の信念:患者移動中における背中への痛みの予防についての質的研究	博士
23	看護学生が学習内容の理解を維持する方法—ウェアラブル電図の実用性	博士
24	急変に対するシミュレーショントレーニングの実践とその効果	—
25	多国籍患者の健康ニーズに対応するための革新的テクノロジーの使用	博士
26	日本の看護学生の何パーセントが日々の看護における患者の活動制限を認識しているか?	修士
27	米国における更年期症状の人種/民族特有の共変量	博士
28	若年日本人女性の骨密度とその関連要因	—
29	2つの都市の物語:東西の出会い:文化的に有用な指導:インドとアメリカの地理的境界を超えて	博士
30	精神科病院で看護大学生の臨床実習を初めて監督する看護師が経験した不安	修士
31	スクールナースが医療に高度に依存する子どもに対するケアに感じる困難	博士
32	成人クリティカルケアにおける大学のスキルラボでの技術演習の現状	修士
33	沖縄の島嶼看護のためのプライマリケア看護実践プログラムの開発	博士
34	新卒看護師のための支援システムの評価:調査研究	—
35	日本における患者ニーズに対する大学院生と大学生の視点の違い	修士
36	片麻痺患者の車椅子への移乗に関する看護学生と臨床看護師のリスク意識の違い	—
37	Ike Ao Pono - ネイティブの看護人材を増やす	修士